

図-3 カリキュラムマップ

		(D)	(P)	(1)人は、身体的・精神的・社会的側面を持つ存在であると理解している	(2)看護対象者の健康段階・発達段階に応じた看護を実践している	(3)看護の本質を学び、自己の看護観を持っている	(4)学修を通して、状況に応じた人間関係を築いている	(5)自己成長のための努力をしている	(6)地域の特性を理解し看護に反映している
卒業	後期			統合実習					
	通年	臨床看護学実習Ⅰ・Ⅱ	老年看護学実習Ⅰ・Ⅱ 小児看護学実習Ⅱ 母性看護学実習 精神看護学実習		看護実践能力と評価	医療安全管理		△プレゼンテーション技法 臨床看護研究セミナーⅡ	
	前期					災害・国際看護		臨床看護研究セミナーⅠ	在宅看護論実習
2年次履修	後期	○リハビリテーション論 臨床看護援助論Ⅲ がん・ターミナル看護 周手術期看護				基礎看護学実習Ⅱ(12月) 看護過程の実際 老年看護援助論Ⅲ 小児看護援助論Ⅱ・Ⅲ 母性看護援助論Ⅲ 精神看護援助論Ⅲ 地域・在宅看護援助論 在宅看護援助方法論	看護福祉論	△看護の統計学 看護研究	
	前期	小児看護学実習Ⅰ(8月) ○疾病・治療論各論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ ○精神疾病・治療論 ○小児疾病・治療論 ○老年疾病・治療論 臨床看護援助論Ⅰ・Ⅱ 母性看護援助論Ⅰ・Ⅱ				△情報システム論 看護過程の実際 老年看護援助論Ⅰ・Ⅱ 小児看護援助論Ⅰ 精神看護援助論Ⅰ・Ⅱ 公衆衛生看護学概論 在宅看護論	○生命倫理		○保健医療福祉論
1年次履修	後期	○栄養学 ○病原微生物学 ○人体構造機能学各論Ⅲ・Ⅳ ○病態生理学 ○疾病・治療論総論 ○薬理学 ○公衆衛生学 老年看護学概論 小児看護学概論 母性看護学概論 精神看護学概論				○法学 看護理論 看護過程の基礎 診療援助技術論 成人看護学概論		△英語Ⅱ	
	前期	○健康と運動 ○生化学 ○人体構造機能学各論Ⅰ・Ⅱ □心理学 ◇生活科学				基礎看護学実習Ⅰ(8月) 看護学原論 生活援助技術論	□人間関係論 □グリーフケア □ストレスと癒し □手話 ◎人権と福祉 ◇接遇 ◇地域ボランティア演習	□言葉と表現 □感性を高める表現 ◎市民社会と生活 △英語Ⅰ	◇家族論
		○ひとの命と健康を考える □ひとの可能性を考える ▲ひとの生活を考える ◎ひとの権利を考える △学修の基礎力を培う							
入学生 の受け入れ 方針 (AP)	・人の健康、生活、医療に興味・関心がある ・誠実に人と向き合える ・人の話をよく聴き、自分の考えを伝えることができる ・周囲のできごとを自分のこととしてとらえ、感じられる ・入学後の学修に必要な基礎学力がある								

※アンダーラインは選択科目